



61号

2018年8月1日発行

- 議会構成 ..... P 2
- 第1回臨時会 第2回定例会 ..... P 3
- 常任委員会報告 ..... P 4
- 所管事務調査報告 ..... P 5～P 6
- 一般質問 ..... P 7～P 10
- 議員特別セミナー報告 ..... P 10・P 11
- 議会活動日誌、第3回(9月)定例会予定 ..... P 12



▲ みんなで学ぼう！プログラミング／梅原小学校

# 新たな議会構成

第1回臨時会において、新しく議長・副議長・監査委員が決まり、常任委員会の委員構成が決定。  
第2回定例会では特別委員会の設置がきまり、新たな体制で議会がスタートします。

## ● 議会運営委員会 ●



古川雅一 村瀬誠三  
上野欣也 ◎武藤孝成 ○郷 明夫



議長 石神 真



副議長 吉田 茂広



監査委員 藤根 圓六

## ● 総務産業建設委員会 ●



寺町祥江 山崎 通 郷 明夫  
石神 真 ◎上野欣也 ○加藤義信 藤根圓六

## ● 厚生文教委員会 ●



村瀬誠三 福井一徳 操 知子  
武藤孝成 ◎古川雅一 ○加藤裕章 吉田茂広

## ● バスターミナル整備特別委員会 ●



加藤義信 村瀬誠三 古川雅一  
武藤孝成 ◎寺町祥江 ○藤根圓六 上野欣也

【設置目的】  
バスターミナル整備に関する調査・研究を行う。

## ● 観光整備特別委員会 ●



山崎 通 福井一徳 郷 明夫  
○操 知子 ◎加藤裕章 吉田茂広

【設置目的】  
大河ドラマ放送に伴う観光整備に関する調査・研究を行う。

◎委員長 ○副委員長

岐北衛生施設 利用組合議員	山崎 通	石神 真	吉田茂広	古川雅一	加藤裕章
------------------	------	------	------	------	------

# 第1回臨時会 第2回定例会

平成30年第1回臨時会を5月10日に開催し、専決処分案件3件、人事案件10件、予算案件1件の議決を行いました。

また、平成30年第2回定例会を、6月7日から21日までの15日間の会期で開催しました。

6月7日は、報告案件3件、条例案件6件、予算案件5件、その他案件2件、請願1件の提案説明が行われました。

13日は、質疑後に所管の委員会に付託、14日に総務産

業建設委員会、15日に厚生文教委員会を開催し、付託案件について慎重に審議しました。

18日は、7人の議員が市政について一般質問を行いました。

21日は、付託案件に対する委員長報告・質疑・討論を行い全議案採決後、人事案件1件、委員会提案の決議1件を議決し、閉会しました。

## 第1回臨時会の議決結果

種別	議案番号	議案名	結果	採決状況
専決処分案件	承第1号	山県市税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	全会一致
	承第2号	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	全会一致
	承第3号	山県市手数料条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	全会一致
人事案件	議第41号	山県市公平委員会委員の選任同意について	同意	全会一致
	議第42号～45号	山県市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意	全会一致
	議第46号	山県市教育委員会委員の任命同意について	同意	全会一致
	議第47号～49号	山県市高富財産区管理委員の選任同意について	同意	全会一致
予算案件	議第51号	山県市監査委員の選任同意について	同意	全会一致
	議第50号	平成30年度山県市一般会計補正予算(第1号)	可決	全会一致

## 第2回定例会の議決結果

種別	議案番号	議案名	結果	採決状況
報告案件	報第3号	平成29年度山県市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—
	報第4号	平成29年度山県市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—
	報第5号	山県市土地開発公社経営状況について	—	—
条例案件	議第52号	山県市税条例等の一部を改正する条例について	可決	全会一致
	議第53号	山県市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	全会一致
	議第54号	山県市障害者地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全会一致
	議第55号	山県市ピッコロ療育センター設置条例の一部を改正する条例について	可決	全会一致
	議第56号	山県市工場立地法に基づく準則を定める条例について	可決	全会一致
予算案件	議第57号	山県市空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例について	可決	全会一致
	議第58号	平成30年度山県市一般会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
	議第59号	平成30年度山県市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
	議第60号	平成30年度山県市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
その他	議第61号	平成30年度山県市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
	議第62号	平成30年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
人事案件	議第63号	不動産の譲与について	可決	全会一致
	議第64号	市道路線の認定について	可決	全会一致
請願	請願第1号	所得税法第56条の廃止を求める請願	不採択	賛成少数
委員会案件	発議第2号	特別委員会の設置に関する決議について	可決	全会一致

## 各議員の賛否等

議案番号	議決結果	寺町祥江	加藤裕章	古川雅一	加藤義信	郷明夫	操知子	村瀬誠三	福井一徳	山崎通	吉田茂広	上野欣也	石神真	武藤孝成	藤根圓六
請願第1号	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	—	●	●

※○は賛成、●は反対。なお、議長は採決には加わらない。

# 常任委員会報告

委員会に付託された議案について審議しました

## 条例案件

【議第57号】 山県市空家等対策協議会設置条例の一部改正

**Q** 改正の理由は。  
**A** 市空家等対策協議会の会長選出方法を変更するため改正する。

**Q** 協議会のメンバーは。  
**A** 空家対策特別措置法の趣旨に基づき、自治会連合会長、市議会議員、弁護士、県職員などに委嘱している。

**Q** 空家等利活用推進協議会との違いは。  
**A** 対策協議会は、空家対策の特別措置法に基づく法定協議会であり、空家対策に関わる市の方針を協議するために設置した。その中に平成28年度の事業により利活用推進協議会が設置されている。

## 条例案件

【議第56号】 山県市工場立地法に基づく準則を定める条例

**Q** 山県市工場立地法に基づく準則を定める条例について、デメリットや悪影響はないのか。  
**A** 工場立地法に係る緑地規制を緩和し、企業立地などの促進を図るため条例を定めるものであり、市としてのデメリットはない。

### 主な質疑

総務産業建設委員会

## 予算案件

【議第58号】 平成30年度山県市一般会計補正予算(第2号)

**Q** 平成30年度一般会計補正予算の議会費の減額理由は。  
**A** 職員に対する扶養手当の変更による減額である。

**Q** こどもげんきはうす管理の減額理由と職員数の変化は。  
**A** 職員数は変更ないが、正職員を再任用職員に変更したことによるものである。

採決の結果、付託された議第56号から議第58号、議第63号及び議第64号の議案は全会一致で、原案どおり可決すべきと決定しました。

工場敷地面積に対する緑地面積率・環境施設面積率

平成30年7月1日以降の準則(市の準則)

	住居・商業系地域	準工業地域	用途地域以外(都市計画区域外含む)
緑地面積率	20%以上	10%以上	5%以上
環境施設面積率(緑地面積を含む)	25%以上	15%以上	10%以上

※重複緑地参入率については、緑地面積率の50%以下  
 ※緑地を含む環境施設は、敷地周辺部に15%以上(工業・工業専用地域、用途地域以外は10%以上)配置。

常任委員会報告

## 条例案件

【議第52号】 山県市税条例等の一部改正

種類	課税標準	現在のたばこ税額	2022年10月のたばこ税額	
	1本当たり	1箱当たり	1箱当たり	
紙巻きたばこ	12.244円	244.88円	304.88円	
加熱式たばこ	たばこの葉①	15.7g	192.23円	約270円
	たばこの葉②	9.8g	119.99円	約240円
	液体	2.8g	34.28円	約210円

加熱式たばこは1gを紙巻きたばこ1本分に換算し課税されています。  
 ※小売価格や消費税などが据え置かれた場合

**Q** たばこ税改正に伴う、市税条例の改正概要は。  
**A** 「紙巻きたばこ」と「加熱式たばこ」のたばこ税の格差を5年かけて段階的に調整するための税制改正である。

**Q** 固定資産税の特例による税収不足への対応は。  
**A** 特例による固定資産税の軽減により減収した分は、地方交付税の基準財政収入額の減少とし補填される。

### 主な質疑

厚生文教委員会

## 条例案件

【議第54号】 山県市障害者地域生活支援事業の実施に関する条例の一部改正

**Q** 法令改正に伴い、条例の一部を改正する内容は。  
**A** 共同生活介護をする「ケアホーム」と、共同生活援助をする「グループホーム」が「グループホーム」に一元化されたことによる改正である。

**Q** 入所対象者における公的措置への影響は。  
**A** 措置は随時行っており、特に問題はない。

## 条例案件

【議第53号】 山県市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

**Q** 放課後児童健全育成事業に従事している指導員の現状、見通しは。  
**A** 現状では伊自良北小学校の指導員が不足しており、この状況が続く見通しである。地元の人などを募集し、対応していく。

**Q** 指導員に従事する者の対象範囲は。  
**A** 5年以上の実務経験があり、他市町村で従事しているも対象範囲となる。

## 予算案件

【議第58号】平成30年度山県市  
一般会計補正予算(第2号)

Q「生活保護システム改修業務委託料」が、全額国庫補助金により賄われない理由は。  
Aシステム改修は国の制度改正に基づき行うが、国庫補助金については全国の担当者会議で国の補助金は2分の1と説明があり、今回2分の1の歳入を計上している。

## 予算案件

【議第59号】平成30年度山県市介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q「認知症総合支援事業費」の臨時保健師賃金に關連して、臨時保健師が保険業務で取り扱う個人情報に対する配慮は。  
A正職員と同じように個人情報を携帯で持ち出す場合の許可、パソコンを使う上での許可を総務課でとるなど、正職員と同じ条件である。研修も受け、個人情報を守るよう厳しく指導している。

採決の結果、付託された議第52号から議第55号及び議第58号から議第62号については、全会一致で、原案どおり可決すべきと決定しました。  
請願第1号は採決の結果、賛成少数となり、「不採択」と決定しました。

# 自 所管事務調査報告

総務産業建設委員会 (6月14日) (文責 加藤 義信)

## 県営かんがい排水事業 (東沖地区)

県の事業主体により、農業用排水路施設整備を総事業費2億9700万円にて平成27年度から4年計画で行っており、平成30年度完成予定である。

今までは、土水路であったため維持管理が難しかったが、用水路と排水路を一体的に46.3ha工事を行い水の流れを改善している。これにより、管理が容易になり、生産性の向上が見込まれる。



## 鳥獣被害防止用の複合柵(大桑)

平成28年度、野生獣被害集落緊急支援事業により、大桑栗団地組合が管理する栗畑6277㎡に、侵入防止柵の整備に係る資材費の助成を受け、周囲柵延長距離350mに複合柵が設置された。

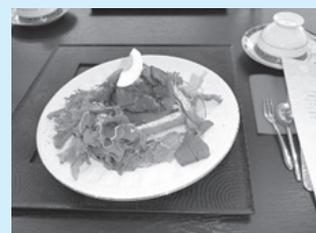
複合柵は、上段4段の電気柵と下段ワイヤーメッシュ柵となっている。耐用年数は、約14年から15年。それにより、日本鹿による被害はなくなり、サルの被害減少にも効果があるとのことである。



## 「ラブレイク」伊自良湖

伊自良湖畔の観光拠点として、散策デッキ「ラバーズロード」や「ラブレイク」が今年3月17日にリニューアルオープン。この改修は平成29年度、国や県の補助金約1億3000万円を投じて進められ、その後の集客状況などについて説明をうけた。4月の来場者数は3倍、5月の来場者数は1.5倍となり売り上げも増加。女性グループや、土日には若いカップル、また平日に訪れる人も増え、オープン記念として北欧をイメージして作られたスモープローランチ(北欧風オープンサンド)も人気だという。

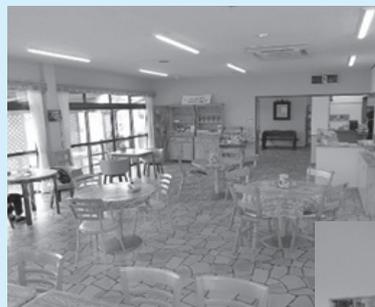
今後、様々なイベントも予定されている。



## 四国山香りの森公園

四国山香りの森公園イメージチェンジ整備事業において、地方創生推進交付金・田舎暮らし推奨加速化事業として、岐阜女子大学に改修等助言業務委託をし、厨房、バックヤードの目隠し、動線、インテリア、トイレ改修などの提言により施工された。

指定管理者として自主事業の企画については、昆虫採集イベント、アロマ介護予防トレーニング、香りの森公園&香り会館ブランドの創設、キッズスペース設置及びソファ席の設置、地元野菜の朝市とハーブのマルシェなど、その他にも様々な企画をされている。



## 山県消防署の庁舎改修

本年4月より、山県消防が広域化となり、本市の救急車の出動回数は4月は92件中4件は岐阜市から本市へ、10件は本市から岐阜市へ出動。5月は87件中3件は本市へ、10件が岐阜市へ出動した。また、本市内で2件の枯れ草火災が発生した。

広域化に伴い、勤務体制なども変更になり、山県消防署の庁舎改修として、仮眠室の改修、女性専用室の設置、食堂の改修、通信指令室の撤去など、各部屋を視察した。

## 厚生文教委員会 (6月15日)

(文責 加藤 裕章)

### 人型ロボットペッパー(梅原小学校)

プログラミングの体験を通し、物事を論理的に考え、正しく伝える能力を身につける目的で、人型ロボット「ペッパー」を2台リースし、市内小中学校を巡回し使用していく予定。

主に学校図書や学校活動の紹介などに活用している。子どもたちは、元気よくペッパーと挨拶を交わし、どのように活用していくのかを考えながら使っていると説明があった。

委員からは、触って故障することはないのか、操作は簡単であるかなど質問があったが、子どもたちは積極的に活用しており、今後のプログラミング教育の推進に期待する。



### テニスコート人工芝張替え(伊自良総合運動公園)

テニスコートの人工芝が経年劣化により状態が悪化したため、人工芝の全面張替えを実施した。安全に活用され、利用が増えることを願う。



## オレンジヒルズやまがた

特別養護老人ホーム50室、ショートステイ30室、デイ・サービスセンター20人分を新設し、特別養護老人ホームの入所から進めている。

個室は1部屋ごとに色使いなどが異なり、入所者の好みに合った生活ができるよう工夫がされている。

現在、待機者が60人以上おり、独居者が多いことが課題である。また、介護職員の確保にも協力いただきたいとの要望があった。



7人の議員が登壇し、市政を問う



古川 雅一 議員

Q 猟友会と行政との協力体制は

A ジビエ支援などで猟友会をPR

Q 農作物被害を減少させるには、行政、市民と協力し駆除数を増やしていかなければならないが、今後どのようにして市猟友会と協力し会員数を増やしていくのか。

A 市民に、狩猟・有害鳥獣駆除・ジビエなどに興味を持ってもらうため、昨年度、福祉課やまちづくり・企業支援課のイベントにてジビエ料理を提供し、鳥獣被害を身近に感じような話をするなど、PR事業を開催した。

猟友会の活動に、多くの人が興味を持つよう、ジビエの取り組み支援を通じ、PRしていきたい。

Q ジビエの支援策は。

A ジビエ解体処理施設の整備について、国や県の補助制度を活用することも含め、検討する。

Q 有害鳥獣の殺傷後の後始末に、美山地域の焼却施設を有効利用してはどうか。後始末のサポートの考えは。

A 美山地域の焼却施設は、地元と締結した協定書にて、動物の死骸を焼却対象物としていない。取り扱う場合は地元の同意を得る必要がある。

また、焼却施設は、炉の面積が小さく、動物を処理した場合、燃え残る可能性があり、設備への影響も考えられる。

しかし、後始末に困っているのは承知している。地元の意見を聞き、小動物だけでも焼却が可能か調査したい。

※ジビエとは

ハンターによって食材として捕獲される野生鳥獣やその肉のこと

Q 借地料支払いの現状と今後の対応は

A 計画を踏まえ検討していく



郷 明夫 議員

Q 市管理公共施設にて底地を借地し借地料を支払う案件は多く、総額も年間2000万円弱と高い。

・グリーンプラザ美山

年205万円

・四国山公園の山林

年146万円

・市総合運動場

年613万円

・職員駐車場

年85万円など。

借地期間も長くなりがちであり、相続トラブル回避などから底地の買取や土地評価で借地料低減及び借地一部返還など図るべきでは。

A 施設の建設をする場合は、用地取得を前提としているが、土地の譲渡に関する地権者の同意が得られない場合や、利用者の増加に伴う駐車場用地のように当該用地の恒久的な利用が不明確な場合、また、地権者の協力が得られた場合でも取得

よりも、賃借の方が有利な場合など、様々な要望や各種条件などを考慮しなければならぬ。その都度、最善の方針を選択している。

Q 公共施設等総合管理計画で借地案件は更なる慎重な検討が必要ではないか。

A 昨年度策定した「公共施設等総合管理計画に係る個別施設の管理方針」を踏まえ、契約更新時などにおいて、施設の耐用年数などを考慮し、借地の返還を見据えた契約内容を慎重に検討するなど、土地の賃借関係についても、より適切に対応していく。





加藤 裕章 議員

## Q 歴史観光まちづくりにどう取り組むか

A 歴史にまつわる史跡や伝承の活用を

## Q ふるさと教育及びキャリア教育の取り組みは

A 魅力あるキャリア教育の充実を

Q 2020年に明智光秀公が主人公となる大河ドラマ「麒麟がくる」の放送決定が発表された。市内には光秀公や土岐氏にまつわる地があるが、観光誘客や受け入れ態勢の整備にどのように取り組むのか。

A NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」を契機に、昨年度作成した歴史観光ストーリー「今と昔が動き出す」を活用し、土岐氏と明智光秀公のつながり、これらにまつわる史跡や伝承に関心が持たれるよう、関係課と連携し市民に周知する。  
観光誘客や受け入れ態勢として、観光案内のあり方、目的地への誘導方法、団体客や外国人観光客の受け入れ方策、食事場所や休憩施設の充実、ゴミ処理の対応、交通手段と安全確保などについて意見を聞き研究・検討していく。

Q ふるさと教育やキャリア教育は、勉強する目的を持つことや将来の定住につながるかと考えるが、現在の実施状況は。

A 地域と学校が協働し、学校コラボ事業を行い、延べ約4000人の地域人材とともに教育活動などが展開されている。中学校ではキャリアナビ（職業講話）が充実している。

Q 今後の取り組みは。

A 地元企業の活動が調べられる中学生用「おしごと図鑑(仮称)」の作成、児童生徒や地域にとって意義のある見直し・改善を学校と地域・各種団体と図る。

大桑小学校における地域特産物の学習など、地域おこしにつながる取り組みは意味のある教育活動ととらえている。教育委員会としても「特色ある学校づくり事業」の活用などに働きかけていく。

## Q 健康増進対策の取り組みは

A アクティブ+10事業を実施

## Q ヘルプマーク・ヘルプカードの普及は

A ヘルプマークの普及促進を



加藤 義信 議員

Q 今秋、県は県民の健康づくりに効果的な取り組みをポイント化し、特典が受けられることで、利用者の拡大と健康意識の向上につながる「清流の国ぎふ健康ポイント事業」を推進する。  
本市の健康寿命の更なる延伸のため、県と連携する考えは。

A 本市は運動と健康診断をすることで、参加賞と抽選で素敵な賞品が当たる「アクティブ+10事業」を5月1日から来年1月31日まで実施している。  
県のポイント事業がスタートした場合、「アクティブ+10事業」もポイントの中に組み込み、実施したい。市民は、県と市の特典を受けることができるよう、「アクティブ+10事業」に取り組んで頂きたい。

Q 周囲に援助や配慮が必要なことを知らせ、周囲は思いやりのある行動を心掛けるという趣旨が込められたヘルプマークの周知方法は。

A 広報やホームページへの掲載、公共施設でのポスター掲示のほかチラシを配布し周知を図っている。

Q 具体的な支援内容が記載でき、災害時や日常生活で困った時に周囲に提示し支援・配慮を求めるヘルプカードの普及の考えは。

A 県はアンケート調査結果から、身につけることにより、周囲の人に援助や配慮が必要であることが一目で分かるヘルプマークを導入している。  
本市も、ヘルプマークの普及促進に取り組んでいきたい。

### その他の質問

・ 中小企業支援対策について



村瀬 誠三 議員

## Q 農業・畜産・林業の振興は

### A 関係機関と連携し支援

**Q** 各分野のブランド化されているものはあるか。  
**A** 元氣玉、桑の木豆、利平栗、連柿、山県ポーク、濃厚卵黄もみじノポーク、美濃ヘルシーポーク、濃厚卵黄もみじたまごがある。

## Q PTA活動のあり方

### A 地域・家庭・学校が役割を自覚し、連携が肝要

**Q** それらの商品の紹介などPR不足ではないか。  
**A** 県が主催する商品フェアへの出展を支援する。JA、商工会、観光協会と連携し、ブランド化促進の取り組み支援に努める。

**Q** 産業の六次産業化を推進し、企業体質の強化を図るよう努めては。  
**A** 各分野の生産者の収入を増やす手段として、生産品を加工し、付加価値を付けて販売をする六次産業化は有効な手段である。六次産業化に取り組もうとする意欲のある生産者には、関係機関の紹介や国、県などの補助制度を活用し積極的に支援していく。

**Q** 全国的にPTA活動が問題化されてきているが、市では役員の選出や活動内容について問題は起きていないか。  
**A** 市PTA連合会としては大きな問題はなく、活動に支障はない。働く保護者が多くなり時間の確保が困難な面もあり、活動内容や役員選出など、現状の把握や整理が必要である。

**Q** それぞれの役割を自覚し、保護者がわが子の育ちを地域や学校とともに支援していくことが肝要である。  
**A** 本市では家庭が持つ教育機能を発揮し、PTA活動に取り組んでいる。少子化により会員数が減少する中、各学校のPTAの規模や実態に即した行事や活動のあり方を整理する。

**その他の質問**  
・子育て支援課の行政的役割について

## Q 子育て支援課と子育て世代包括支援センターの役割

### A 子育てに関する窓口の一元化



寺町 祥江 議員

## Q 体験型保育事業の成果と今後の課題

### A 自然体験型保育の機運を高める

**Q** 新設された子育て支援課と子育て世代包括支援センターそれぞれの役割は。  
**A** 子育て支援課は、子育てに関する手続きや乳幼児などの各種相談について一体的な支援を行う。また、関係機関との情報共有や連絡調整を行い、連携の強化を図る。

**Q** 両立不安に対するサポートを関係課と連携していく考えは。  
**A** 少子化対策・子育て支援につながるすべての部署と連携し、両立不安に対しサポートしていく。

**Q** 子育て期にいたるまで、切れ目のない支援を行う。妊産婦や保護者の相談に保健師などの専門家が対応し、必要な支援の調整や関係機関との連絡調整を図り、育児不安の解消や虐待の予防をする。  
**Q** 関係課と連携し、今後の事業実施につなげる考えは。  
**A** 本事業の成果を活かし、関係課と連携を図りながら、子育て支援の充実に努めていく。

**Q** 市立保育園での保育の現状は、市として誇れる保育の質があるのではないか。  
**A** 地域との関わりを重視し、各保育園が工夫を凝らした自然とのふれあい保育を行い、子どもたちの健やかな成長につながることを本市として誇れる保育の質であると考える。

**Q** 自然とのふれあいは、創造力が養われるとともに心豊かな人間を育てるものであり、本市の子育て環境のすばらしさを実感していただいたことが本事業の成果である。

**Q** 山県市体験型保育事業の成果は。  
**A** 自然とのふれあいは、創造力が養われるとともに心豊かな人間を育てるものであり、本市の子育て環境のすばらしさを実感していただいたことが本事業の成果である。

**Q** 関係課と連携し、今後の事業実施につなげる考えは。  
**A** 本事業の成果を活かし、関係課と連携を図りながら、子育て支援の充実に努めていく。

**Q** 市立保育園での保育の現状は、市として誇れる保育の質があるのではないか。  
**A** 地域との関わりを重視し、各保育園が工夫を凝らした自然とのふれあい保育を行い、子どもたちの健やかな成長につながることを本市として誇れる保育の質であると考える。

**Q** 両立不安に対するサポートを関係課と連携していく考えは。  
**A** 少子化対策・子育て支援につながるすべての部署と連携し、両立不安に対しサポートしていく。



福井 一徳 議員

Q デマンド型などの実証実験の概要は

A IC開通後の公共交通を視野に検討

Q 保育の民営化の検討状況は

A 保育の質の維持などに十分配慮を

Q 小学校の大型遊具撤去後の整備計画は

A 継続使用できるように、順次 整備計画を

Q 公共交通網形成計画に基づき本年10月からの実証実験の概要は。

A インターチェンジ開通後の地域公共交通のより良いあり方を検討するため「市街地循環線」「岐阜大学病院線」「美山地域のデマンド型交通」の3系統について、平日に利用料無料で行うものである。

Q 実証実験を成功させるため、広報、地域ごとの説明会、協議の場づくりをどのようにするか。

A 普段バスを利用しない人にも協力いただけるよう、自治会長・民生委員をはじめ福祉懇談会などの機会を生かし、多様な人と協議し、市広報・同報無線などにより周知していく。

Q 市の公立保育園は維持すべきだ。保育の質の維持と保育士の確保・育成にとって「民営化」はなぜ必要か、検討状況は。

A 多様化する保育ニーズに対応するための保育環

境の更なる充実や保育事業の安全かつ、安定的な運営を図るためには、保育士の確保や育成が必要である。  
保育園の民営化は、これらのことに十分配慮しながら検討する。

Q 5校で危険な点検D判定のコンビネーション遊具が撤去された。今後C判定の更新や修繕も含め、撤去後の子どもたちのための各校ごとの整備計画は。

A 学習指導要領にある学習内容や発展的な学習などの充実を考慮し、継続使用ができるよう、C判定体育施設から順次修繕などの整備を進めていく計画である。

遊びを通じた人間関係づくりや体力づくりについて、教育活動の仕組みの工夫と各種団体や各種事業を活用するなど、児童の実態に応じ、意図的に進めていくことも有効な整備であると考え、体力優秀校となったいわ桜小学校の成果などを広く市内学校に発信・啓発していく。

# 市議会議員特別セミナー報告



一般質問

議員特別セミナー報告

## 人口減少の時代に 観光による地域づくりを

### 豊岡の観光戦略

兵庫県豊岡市長 中貝 宗治氏

### 受け継いできた大切なものを守り、 育て、引き継ぐまちづくり

豊岡市は2005年に1市5町が合併した約8万2000人のまちである。

豊岡市城崎町の城崎温泉は大正14年に北但馬大震災の火災でほとんどの旅館街が全焼。

復興では鉄筋コンクリートの建物を要所に配置し、防火壁を整備し、当時としては最先端の防災対策をし、伝統的な木造3階建ての旅館街を復活させた。町の住民は約3500人だが、2016年には65万人の宿泊客が訪れている。



## 【共存共栄の町】

町全体で宿泊客をもてなし、豊岡市の外国人宿泊客数は年々増加している。

課題は城崎温泉の閑散期に宿泊客を伸ばすことである。閑散期の宿泊客増加は通年雇用の創出になり、若い人の働き場所にもなる。

## 【芸術文化を創造し発信】

閉館していた芝居小屋を2008年に復活させ、歌舞伎の公演を始めた。

築30年以上の古いホールを劇団に「無料で貸そう」と思いつき、2014年に城崎国際アートセンターとしてオープン。



パフォーミング・アート、演劇とダンスに特化した日本最大のアーティスト・イン・レジデンスの施設である。

3ヶ月までは施設を無料で貸し出すため、世界各地から滞在希望があり、著名なアーティストの滞在や若手育成の場になっている。

## 【環境問題】

コウノトリのまちでもある豊岡市は、湿地で餌をとるコウノトリのため、休耕田を活用し、1年中水を張り、農薬を極力なくし絶滅したコウノトリを復活させた。

現在では飼育で100羽、野外で102羽が生息し、多くのバードウォッチャーが訪れている。また、無農薬米「コウノトリ育むお米」を海外へ販売している。

(文責 古川雅二)

## 京菓子老舗女将の「ついでにお話」

笹屋伊織 女将・京都観光おもてなし大使

## 京都人のおもてなしを学ぶ

田丸みゆき氏



京菓子は五感の芸術であり、そのうちのひとつとして、菓銘を聴いて楽しむことが挙げられる。

例えば、菅原道真が歌った「東風吹かば匂いおこせよ梅の花あるじ無しとて春を忘るな」の「東風」とは、京菓子における「梅の花」で使われる。他には、寿ぎとして、松竹梅や鶴亀をかたどったものがあり、京菓みに込められた願いがある。

さて、京菓子は、

なぜ菓子の前に地名が付くのだろうか。やはり神社仏閣における伝統行事や皇室を中心とした上流階級により200年間使われたこと、茶道発祥の地として茶菓子へ使われたこと、そして丹波大納言小豆などの最高級の原材料の宝庫であったことが、他にはない理由であろう。そのような中で、300

年続く老舗女将は、他府県から嫁ぎ、先代の女将や職人から、京都人のおもてなしを学んだ。「朝起きて、今日逢う人の顔を想像します。京都では、二度来たお客さんはお得意さん」「心を残すお見送り(姿が見えなくなるまで見送る)」と、女将は語った。

(文責 操 知子)

## 観光・地域振興のあり方を考える

立教大学観光学部・観光研究所所長

## 市民が主役の観光まちづくり

東 徹氏

「観光資源とは至るところに眠っている。いかに観光対象とするかが問題である」と、東氏はいう。

ところで観光業という業種はあるのだろうか。

観光とは、宿泊、旅行、農業・漁業、交通、小売・飲食など、多様な業種が観光需要に関わり、観光に関連する産業を構成するものである。すなわち、市民が主役の観光まちづくりが必要である。

では、その理念とはなにか。「住民の満足」と「観光客の満足」である。地域への誇り・愛着と、地域の独自性を守ろうとする強い思いによる、政策ではなく、市民によるまちづくりと、持続可能な資源利用



による地域発展、そして行政による「任んでよし、訪れてよし」の観光立国推進基本法の精神に基づく地域づくりである。山県市でも観光のあるべき姿をもう一度見直してみたい。そして、本来の地域振興の姿として、ビジネスを成立させ、地域へお金を「おとす」のではなく、地域へお金を「まわす」仕組みづくりを行うことこそが、今必要である。

(文責 操 知子)

## 全国市議会議長会 東海市議会議長会 10年表彰

上野欣也議員が市議会議員として市政の発展と振興に貢献された功績により、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から表彰状が贈られ、6月定例会本会議において伝達されました。



# 議会活動日誌

## 4月

- 1日(日) 岐阜地域4市1町消防広域化運用開始式
- 3日(火) 議会報編集委員会
- 12日(木) 市議会議員特別セミナー
- 13日(金) 【滋賀県大津市】

- 16日(月) 議会報編集委員会
- 19日(木) 第101回東海市議会議長会定期総会
- 27日(金) 議会運営委員会  
議員協議会

## 5月

- 10日(木) 第1回臨時議会
- 23日(水) 中濃十市議会議長会議
- 27日(日) 第16回市消防操法大会

- 29日(火) 市青少年育成市民会議総会
- 30日(水) 第94回全国市議会議長会定期総会
- 31日(木) 議会運営委員会

## 6月

- 1日(金) 全員協議会  
議会報編集委員会
- 7日(木) 第2回定例会本会議 開会
- 11日(月) 議会運営委員会
- 13日(水) 本会議(質疑)
- 14日(木) 総務産業建設委員会
- 15日(金) 厚生文教委員会

- 16日(土) 市少年の主張大会
- 17日(日) 岐阜山県第一トンネル(仮称)着工式
- 18日(月) 本会議(一般質問)
- 21日(木) 議会運営委員会  
本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)  
議員協議会
- 29日(金) バスターミナル整備特別委員会



▲市議会議員特別セミナー



▲中濃十市議会議長会議



▲岐阜山県第一トンネル(仮称)着工式

## テレビ放映のお知らせ



平成30年第3回(9月)定例会 本会議の「提案説明」と「一般質問」をチャンネル長良川で放送します。

放送日時・チャンネル 9月28日(金)12時~CCN12  
9月30日(日)17時~CCN12(サブチャンネル)

## 編集後記

寺町祥江 加藤裕章  
加藤義信 ◎吉田茂広 ○郷 明夫  
【◎委員長 ○副委員長】



梅雨空のもと、色とりどりの紫陽花が目鮮やかに映えています。この号が届くころには決勝戦も終えています、今まさにサッカーワールドカップ・ロシア大会の真最中であります。日本代表サムライブルーの活躍を大いに期待したいものです。5月に議会報の編集委員が交代しました。限られたページの中で、皆様にわかりやすく、出来る限り詳細な情報をお伝えするよう紙面づくりに励んでまいりますので、今後ともご愛読の程よろしくお願いたします。(文責 吉田 茂広)

## 平成30年第3回(9月) 議会定例会予定

8月31日(金)	本会議(提案説明)
9月 7日(金)	本会議(質疑)
9月11日(火)	総務産業建設委員会
9月12日(水)	厚生文教委員会
9月14日(金)	本会議(一般質問)
9月18日(火)	本会議(一般質問)
9月20日(木)	本会議(委員長報告・討論・採決)

※会議は、原則午前10時より開会します。  
※傍聴の受付は、住所・氏名のご記入です。お気軽にお越しください。  
※日程を変更することもありますので、事前に議会事務局(22-6840)までお問い合わせください。